

ひと

ライスボウルを制したオービックの主将

こしょう なおき
古庄 直樹 さん(32)

主将として守備選手として、アメ
リカンフットボールの日本選手権史
上2度目の完封勝利の立役者になっ
た。しかも相手は母校の立命大。2
003年大会で完敗しただけに格別
の喜びがある。「一番やりにくい相
手でめっちゃくちゃ意識した。法政大
に勝った5年前よりうれしい」

芯が強い。学生時代にアメフット
の強豪、松下電工から誘われなが
ら、「人と違う選択をしたい」と廃
部騒動に揺れる別の会社を選んだ。
十分な練習ができずに移った現在の
チームもスポンサーが見つからない
時期があったが、後悔はしなかつ
た。競技を始めた大阪・関西大倉高
時代から世話になる柔道整復師にあ
こがれ、チーム事務局での仕事と競
技、勉強の「三足のわらじ」をはい

て国家資格を取得。今は鍼灸マッサ
ーシ師の資格もめざしている。

人前に立つのは決して得意ではな
い。のんびりした性格。街を歩く
と、早足のサラリーマンに抜かれ
る。それでも、様々な企業で働く選
手が集まるクラブチームをまとめた
ければならない。練習のない平日は
電子メールで意見を聴き、特に口数
の少ない選手の考えを吸い上げた。
きめ細かい気配りで信頼を得た。

戦いを終えても、心はまだ休まら
ない。2月下旬、鍼灸マッサーシ師
の国家試験がある。その前に、いつ
も試合を見に来てくれた妻の友加里
さんとの間に第1子が誕生する予定
だ。「日本一の次は資格と子ども。
三つとも手にします」

文・由利英明 写真・高橋雄大

